

令和5年度 墨田区立第三寺島幼稚園 経営報告書

令和6年3月14日

園長名 関口 亮治

幼稚園目標	○元気によく遊ぶ子供 ○やさしい心をもった子供 ○進んで取り組み、最後までやり抜く子供
目指す幼稚園像	「子供が主役」の幼稚園づくり
目指す園児像	○元気によく遊ぶ子供 ・意欲的に遊び、五感で感じ取り、自分なりに表現することを楽しむ。 ・明るくのびのびと充実感を味わうよう、遊びの中で十分に体を動かす。 ・健康な生活リズム・食の習慣を身に付け、暑さ寒さに負けず進んで戸外で遊ぶ。 ・危険なことや災害について知り、安全に気を付けて行動する。 ○やさしい心をもった子供 ・友達とのかかわりを深め、思いやりをもつ。 ・自然や身近な動植物に親しみ、命あるものを大切にし、いたわる気持ちをもつ。 ・高齢者や地域の方、異年齢の子供たちに親しみをもつ。 ○進んで取り組み、最後までやり抜く子供 ・遊びや行事等を通して、自分なりの目標をもってやり抜き、熱中する体験を積む。 ・試行錯誤や協同することを積み重ね、友達や他の人との関わりを楽しみ達成感を味わう。 ・「なぜ、どうして」など、興味や好奇心をもち、少しずつ自分の世界を広げていく。
目指す教師像	○愛情をもって子供の思いや願いを受け止め、自立心や意欲を育てるよう、認め、勇気づける指導を進める。 ○幼児理解に努め、一人一人の興味・関心を大切にしながら、日々の教育活動・環境づくりを振り返り、研究・研鑽に努める。 ○園の教育活動を進んで知らせ、保護者と共に、幼児の成長を喜び合う。幼稚園が親子の温かい育ちの場となるよう、親身に接し、相談や支援に努める。大人も相互に学び合い成長する。 ○教師自身が幼児の手本となる。チーム保育による効果的な教育活動の推進。 ○保護者・地域・小中学校と連携し、豊かなかかわりや具体的な体験の場を創り出す。

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	取組目標	自己評価		学校関係者評価		
		達成状況		○分析 ・改善方策	自己評価について	改善策について
		取組指標	成果指標			
保育活動等	○幼児の主体的な活動を促す教育を実施する。 ①幼児の知的好奇心を高める環境作りや働きかけをする。	4	4	○実物に触れる体験や見学の機会を確保し、積み重ねることができた。 ・主体的な姿の表出のために、振り返りを次の計画に生かす保育を一層深める。	A	A
	○特別な支援を必要とする幼児に対しての、組織的な支援を行う。 ①支援体制の充実を図り、組織的に見通しをもった支援を行う。	4	4	○教職員の情報共有と共通理解に基づいて組織的な支援を進めることができた。 ・巡回相談等の研修の機会を生かし、保護者や関係機関との連携を一層進めていく。	A	A
	○将来の自立に向けた保育活動・相談活動等に取り組む。 ①幼保小の円滑な連携を推進する。	3	3	○小学校と連携した交流活動を積み重ね、子供が自己肯定感や就学への意欲を高めた。 ・スタートカリキュラムに対応したアプローチカリキュラムを改善し、実践する。	A	A
	○教員の指導力・授業力を高めるための、組織的な取組等を行う。 ①園内研究、区幼研等で実践的な保育の研究・研修を進める。	4	4	○園内研究では、区の研究協力園1年次の取組を行い、講師からPDC Aサイクルに基づいた保育カンファレンスについて学び、指導力を高めることができた。	A	A
	学校関係者評価委員会の評価委員による、学校運営の改善に向けた	・行事での子供の様子から、互いに尊重し合う態度等、相互の関わり合いのよさが見られ、保育活動の内容は評価できる。他園との合同保育等、より大きな集団としての活動を試す機会がある				

様式 3

実際の取組についての意見等	とよい。
---------------	------

項目	取組目標	自己評価		学校関係者評価		
		達成状況		○分析 ・改善方策	自己評価について	改善策について
		取組指標	成果指標			
生活指導等	○問題行動の予防や解決に向けた組織的な取組等を行う。 ①教職員は愛情をもって子供の思いや願いを受け止め、勇気付ける指導を進める	4	4	○子供相互がよさを認め合ったり、助け合ったりしながら活動し、温かな人間関係の醸成が認められた。 ・関わり合いを一層深める園生活の充実を図る。	A	A
	○基本的な生活・社会習慣、人間関係づくりのための心の教育等に取り組む。 ①保護者と連携した健康な生活リズムや基本的な生活行動の定着を図る。 ②集団のルールや善悪の判断を身に付けさせる。 ③身近な自然と触れ合う環境づくりを進める。	3	3	○飼育動物の世話や植物の栽培等を通して、自然と触れ合う体験を深める環境を設定することができ、子供が命を大切にする姿勢につながっている。 ○集団での遊びを通して、ルールや善悪について考え、課題を解決していく経験を積み重ねることができた。 ・基本的な生活習慣づくりのために、保護者との連携や手だてを一層工夫する。	A	A
	○危機回避能力の基礎の育成や子供の安全を確保するための取組等を行う。 ①園生活の安全を高める取組を進める。	4	4	○小学校と連携した避難訓練や園内外での安全指導の充実を図り、避難行動や安全な行動を身に付けることができた。 ・防災・安全教育を継続して進めていく。	A	A
	○幼児や保護者からの意見や要望への対応等を行う。 ①幼児、保護者の思いや願いを受け止め、保護者とともに課題の解決を図る。	4	4	○行事毎に保護者アンケートを実施するとともに、保護者との日常の対話を大切にし、園教育の改善、充実に努めた。 ・引き続き、保護者との連携を深めていく。	A	A
	学校関係者評価委員会の評価委員による、学校運営の改善に向けた実際の取組についての意見等	・安全面の危機管理意識が高まっているので、小学校と併設である安全性の長所を生かして活動を進めていってほしい。				

項目	取組目標	自己評価		学校関係者評価		
		達成状況		○分析 ・改善方策	自己評価について	改善策について
		取組指標	成果指標			
園の管理運営	○経営方針に基づいた、組織的な教育活動・園運営等を行う。 ①各教職員が園経営方針に基づいた目標設定をし、教育課程に基づいて幼稚園運営を行う。	3	3	○各教職員が管理職からの助言に基づいて、目標設定を行い、参画意識をもって園運営を進めた。また、適切な教育課程の進捗状況の管理に努めた。 ・子供の実態により合わせた教育活動を学校評価に基づいて進める。	A	A
	○幼児の実態に合わせた教育目標設定及び学校評価等を適切に行う。 ①適正なPDCAサイクルに基づいて学校運営を行う。	3	3	○教育課程の各項目に基づいて内部の園評価を行った。 ・保護者等の外部評価と合わせて、次年度の園運営の改善、充実につなげていく。	A	A
	○適切な教育活動が行える教育環境・設備等を整える。 ①安心・安全を第一に考えた環境整備を行う。	3	3	○子供たちの体験を保障することができるよう、教育環境を整えることができた。 ・安全点検等に基づき、よりよい教育環境の整備、美化に努めていく。	A	A
	学校関係者評価委員会の評価委員による、学校運営の改善に向けた実際の取組についての意見等	・施設・設備について、老朽化が進んでいるところは改善していってほしい。				

様式 3

項目	取組目標	自己評価		学校関係者評価		
		達成状況		○分析 ・改善方策	自己評価について	改善策について
		取組指標	成果指標			
家庭・地域連携	○教育方針や日常の教育活動の様子などを工夫して分かりやすく伝える取組等を行う。 ①情報発信の仕方を工夫するとともに回数を増やす。	3	3	○配信システムを活用するなど、学級だより等、教育活動の様子を工夫して伝えることができた。 ・ホームページの更新を増やし、情報発信の取組を充実させる。	A	A
	○保護者や地域の理解や協力を得た教育活動を行う。 ①保護者、地域が参画する保育、連携する保育の充実を図る。	4	3	○公開保育や保護者会、個人面談等、保護者と連携した保育を推進することができた。 ・教育活動の内容を工夫し、地域との連携の機会を増やす。	A	A
連携	学校関係者評価委員会の評価委員による、学校運営の改善に向けた実際の取組についての意見等	・園独自の園のよさをPRする動画を作成し、広く発信していったらどうか。入園を考える家庭が知りたい内容もその中に入れていく。				

2 令和5年度学校評価のまとめ

<ul style="list-style-type: none"> ・墨田区研究協力園1年次、墨田区立幼稚園教育研究会等の研究の取組によって、教員が環境構成や援助の工夫など、指導力を高めることができた。また、小学校との交流や様々な直接に触れる体験を通して、子供たちの主体的な活動を引き出すことができた。次年度は、地域と連携する機会を増やし、一層豊かな体験を積み重ねることができるようにする。 ・様々な視点から園の教育環境を整備し、子供がより一層、安全・安心に過ごすことができる園生活の充実に努める。
--

以上の通り報告いたします。

墨田区立第三寺島幼稚園 園長 関口 亮治 公印